

事務局便い

2019年7月号

自家製の夏野菜の自慢話で花が咲く今日この頃です。

おいしそうな茄子、胡瓜が庭先に見事に実り、なんだかワクワクしませんか？

自宅近くのあぜ道を散歩していたら、田んぼの中にオタマジャクシを発見！！

そういえば夜はカエルの声が賑やかです。やっぱり夏はいいなあ・・



平塚地域産業保健センター

～地域産業保健事業～

地域産業保健センターでは、労働者数 50 人未満の小規模事業場の事業者やそこで働く人を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを無料で提供しています。
ぜひご活用ください。

小規模事業場向けサービスの内容

- ◇労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- ◇健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- ◇長時間労働者及びストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導
- ◇個別訪問による産業保健指導の実施



支援はすべて無料です！

詳しくは、ホームページをご覧ください。

(<http://www.kanagawas.johas.go.jp/>)

独立行政法人 労働者健康安全機構

平塚地域産業保健センター

〒254-0082 平塚市東豊田 4 4 8 - 3 平塚市医師会内

Tel 0463-52-0355 Fax 0463-52-0356



神奈川産業保健総合支援センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3 - 2 9 - 1 第 6 安田ビル 3 階

Tel 045-410-1160 Fax 045-410-1161

全国産業安全衛生大会 in 京都

10月23日（水）～25日（金）

参加申込受付開始しました！！

お申し込みは**神奈川労務安全衛生協会**ホームページから。



満席が続く

フルハーネス型安全帯特別教育

今年の1月からスタートした「フルハーネス型安全帯特別教育」は、開始と同時に満席が続ぎ、このまま12月へと続いていきそうです。出張講習の申し込みも相次ぎ、講師と会場の確保に迫られました。

この講習は、1時間30分の実技が入るので、安全帯のほか、実技器材の組み立てなども準備があり、事務局総出の講習会となります。

こういった講習会は、たぶん他にありません。

フルハーネス型安全帯は、装着するのが慣れない人には思っているより難しく、事務局スタッフは装着の手伝いで大忙しです。教室内はいつも大声を張り上げて安全帯装着の順番を待つ受講生に声をかけるので、賑やかな声が飛び交います。

装着後も、緩みがないかをチェックしますが講師のところで直されることが多くあり、ここで実技が渋滞しています。

スタッフの手伝いを嫌がる受講生もいて、そこは見守るだけにすることもあり、時間内に終わるまでは気が抜けない1日講習となっています。



出張講習のお申し込みお待ちしております



年々、お申し込みが増えているのが、平塚支部出張講習です。事業場独自の講習内容と対象社員を集めて、といったご要望にお応えしてカリキュラムを打ち合わせしていきます。

最近増えてきたのが、新入社員対象の安全衛生教育や中堅社員対象の安全の基本などなど、職場の事情も盛り込みながらのカリキュラムでしょうか・

平塚支部では、皆様のさまざまな悩みに向き合った安全衛生教育と一緒に考えていきたいと願っております。お気軽にご相談下さい。



10月開催講習情報

10月3・4日	特定化学物質及び四アルキル鉛等 作業主任者技能講習
10月8、12日	1t以上フォークリフト運転特別教育
10月11・26日	1t未満フォークリフト運転技能講習
10月20日	クレーン運転特別教育
10月29日	粉じん特別教育
10月31日	各種届出マニュアル説明会





事務局長のひとこと・・



下手ながらも続いているのが水彩画スケッチで、平成14年から初めてなんと17年となった。自信をもって人に見せられる絵ではないが、私にしては、よくも飽きずに続けてきた、と褒めてあげたい気持ち。

スケッチによく出かけるのが、平塚の県立公園「花菜ガーデン」で、好きなベンチに腰掛けて、しばし自然の風を楽しみながら鉛筆を走らせる。季節ごとに花が楽しめるので、行く度に新鮮な景色に出会うのがいい。

人のスイッチは、そんなことで切り替えることができるのかと気付くときがある。仕事の失敗で落ち込み、その晩は眠れなかったはずなのに、翌日のスケッチでいい風にあたっただけで気分が変わる。そして何をクヨクヨしていたのかさえも忘れてしまっている。

私の心のスイッチの「オン」と「オフ」は、単純にできているらしい。そういえば、このスイッチの話は、会社に勤めていたときの社内教育で、衛生管理者Wさんが講師で話したことだと思い出した。

ときどき会社員だったころに出会った言葉が頭を過り、意味をあらためて考えることがある。だからといって、どうすることもないのだけれど。

今できることを出来る限り、無理をせずにスイッチを切り替えながらゆるりと生活していきましょ！！

ゆるりといえば、表紙にも書いたオタマジャクシの話し。

田んぼや小川にオタマジャクシがいることに気付いたのが、自宅を引越して2年目の昨日。

よく見たら、アメンボやタニシなど懐かしい生物たちがいることも発見し、嬉しくなった。

最近は通勤時には白鷺をよく見かけるし、東京なら大騒ぎするカルガモの親子も仲良く泳いでいる。

こんなふうに、ゆる～りと世の中を泳ぐのも

悪くない・・



カルガモになりたい事務局長 . 記